

林業の労働災害発生状況（令和5年）

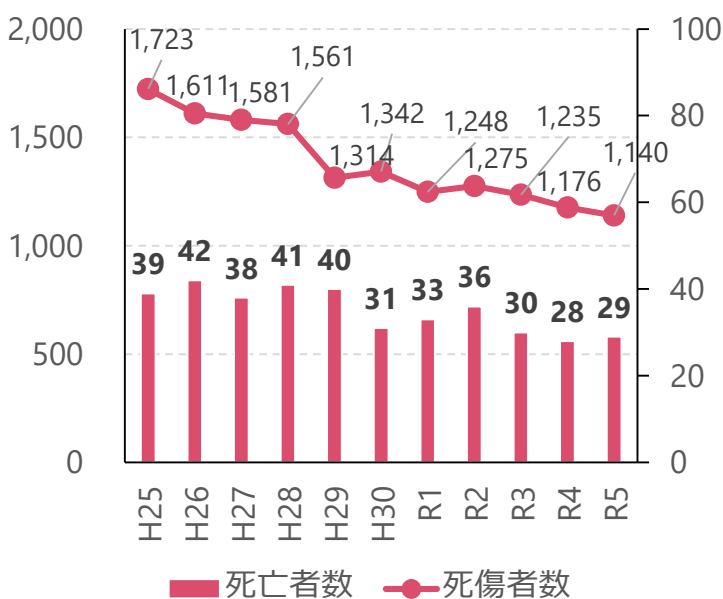
兵庫労働局安全課

1 労働災害発生状況の推移

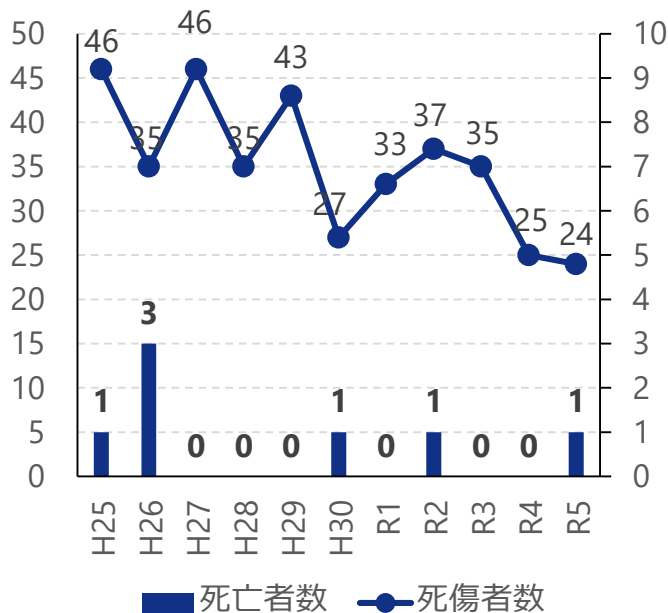
林業における労働災害は、長期的にみると減少傾向にあります。

令和5年の全国の休業4日以上死傷者数（以下「死傷者数」）は1,140人で前年より36人減少しました。死亡者数は29人で前年より1人増加しました。兵庫県内における林業の死傷者数は24人で、前年より1人減少しました。死亡者数は1人です。（令和4年及び5年は新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く。）

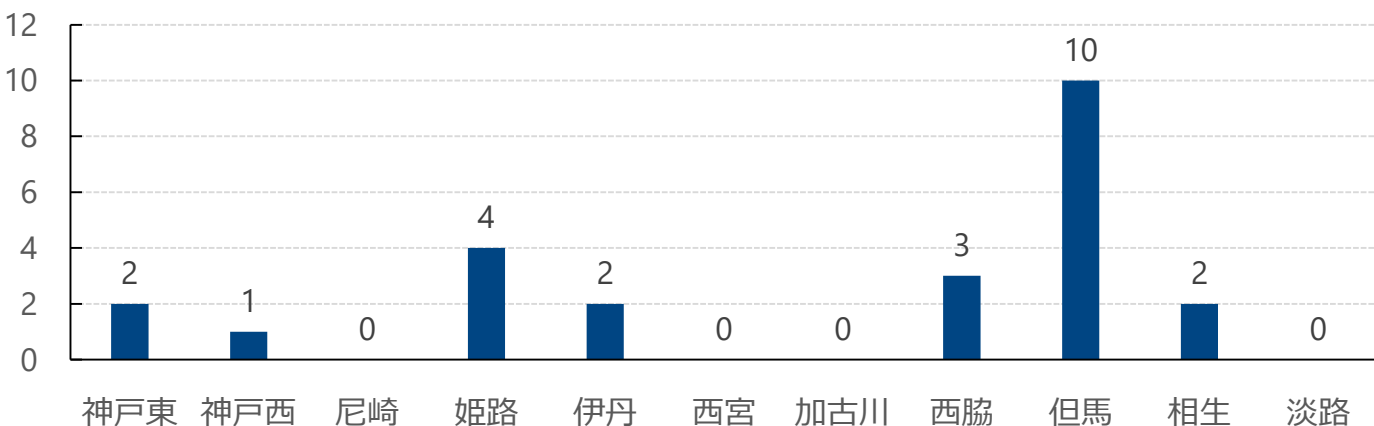
全国の労働災害発生状況



兵庫県の労働災害発生状況



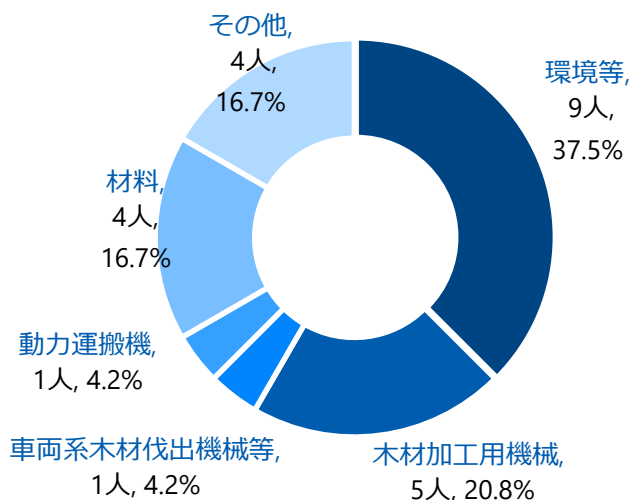
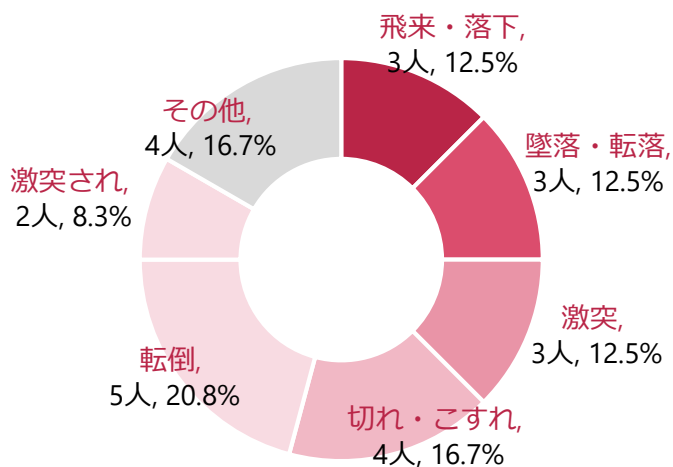
2 労働災害発生状況 -署別-



資料出所：労働者死傷病報告

3 労働災害発生状況 -事故の型別-

4 労働災害発生状況 -起因物別-

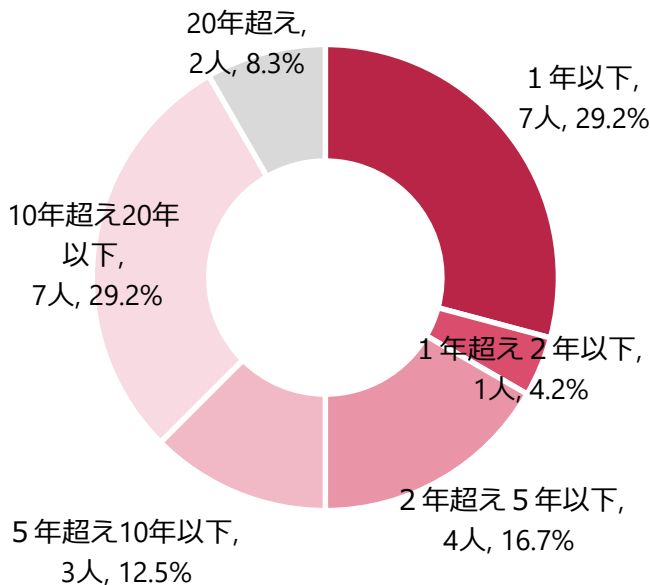
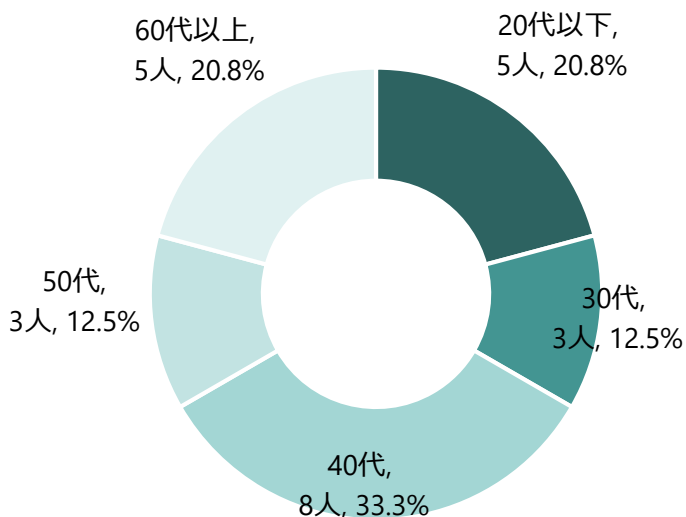


転倒災害が5人と最も多く発生し、次いで切れ・こすれ災害が4人となっております。その他には、熱中症や動作の反動によるもの等を含みます。

環境等の中には、立木等によるものが5人含まれており、木材加工用機械の5人はチェーンソーによるものです。

5 労働災害発生状況 -年齢別-

6 労働災害発生状況 -経験年数別-



40代の方の被災が多く目立ちますが、20代以下の若い方、60代以上の高齢者も多く被災している状況です。

10年を超える方の被災が37.5%、1年以下の方の被災が29.2%と、経験年数の豊富な方、経験年数が少ない方の被災が目立つ状況です。

各グラフの合計値は、四捨五入した数値のため、必ずしも100%となるとは限りません。